

水滴ができる条件

実験番号	教科書	実験日	組	番号	氏名
	p.	月 日			

時刻 () 天気 ()

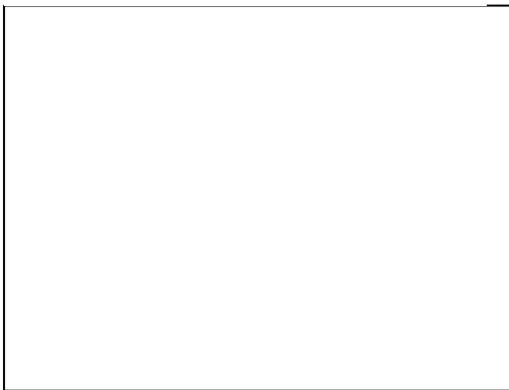
実験の目的

コップに水滴がつき始める温度を測定し、空気中の水蒸気量との関係を探る。

実験の結果

コップの表面に水滴がつき始めたときの水温をはかり、記録する。

実験装置



室温 ()

実験前のコップの水温 ()

コップの表面に水滴がつき始めたときの水温

1 回目 ()

2 回目 ()

3 回目 ()

3 回の平均 ()

まとめ

結果から水滴ができる温度についてまとめる。また、水温が下がるにしたがってコップの表面の水滴の量がどうなっていったかまとめてみよう。

.....

.....

.....

.....

考 察

コップの表面に水滴がつく理由を考えよう。また，飽和水蒸気量のグラフから，実験した部屋の湿度を計算で求め，湿度計の示度と比べてみよう。
